

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 はぐみ神前教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 7日		令和7年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 7日		令和7年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	強み…保護者様が相談しやすい環境にあること(送迎時や電話、LINE)。	定期的な面談を行い、保護者様のお困りごとをお聞きしたり、子どもたちの普段の様子をお伝えしている。	保護者会の開催などより開けた場所にしていく。
2	強み…介護職、保育士、社会福祉士、教員など様々な経験のあるスタッフがおり、広い視野で子どもたちに接することができる。	療育やプリント課題、活動などのレベルをなるべく個々に合わせて、みんなで楽しめる環境を作っている。	
3	強み…勤務時間内の中での対応とはなるが、送迎時間・場所に臨機応変に対応できている。	急な送迎場所の変更なども無理なく安全に対応している。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	弱み…保護者様同士のつながりの場を提供できていないこと。	保護者同士が関われる場を設けていくようにする。	保護者の方々が参加できる活動やイベントを考えていく。
2	課題…研修等に参加し、スタッフの質の向上を高めていくこと。	要因…必要である研修への参加の情報が得られていないため、参加への機会が少ない。	積極的に情報を取り入れ、外部・内部研修に参加していく。
3	課題…移行支援内で移行先または現時点で利用されている関係機関等との連携がうまく取れていない部分が見られる。	要因…保育所等訪問など横のつながりを確保できていない。	保護者様のご相談から、関係機関との連携を図る旨をお伝えし、関係機関に挨拶・訪問などすすめていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 はくみ神前教室

公表日 令和7年2月12日

利用児童数 22名

回収数 19名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	0	0	3		適切なスペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	5	・日々何人くらいの子どもや先生がいるか分からない。	1日のご利用人数による職員の配置人数は適切では ありますが、保護者の方に毎回お伝えはしておりま せん。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になって いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	16	0	0	3	・とても清潔です。	テーブルや椅子・ドアノブ・床・玩具などアルコール 消毒を行っています。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	14	1	0	4		お子様の個々の特性を捉え、それぞれに合った支 援を心掛けております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供 する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	3		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者の ニーズや課題が客観的に分析された上で、児童 発達支援計画（個別支援計画）が作成されてい ると思いますか。	15	0	0	4		無理強いせずに個々の特徴を捉え、その子に合 った学びを提供しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人 支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に 選択され、その上で、具体的な支援内容が設定 されていると思いますか。	14	1	0	4		職員同士話し合い、ニーズに合わせて計画を立て ております。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思 いますか。	13	0	0	6		どのようなことを行っているか、保護者の方が見 て分かりやすいよう日々の連絡帳及びブログ・通 信等でお伝えしております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫 されていると思いますか。	15	1	0	3	・遠足、クッキング、制作など多様な経験をさせ てもらって子どもも楽しんで参加できている。	これから子どもたちの興味を引き出し、様々な 活動を取り入れてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、そ の他地域で他のこどもと活動する機会がありま すか。	5	0	1	13		交流会等を実施したことがないため、今後でき る限り行うようにしていきたいと考えております。
保護 者へ の説 明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がありま したか。	18	0	0	1		契約時にきちんと説明させていただいております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の 説明がなされましたか。	14	1	0	4		一度はご説明させていただきますが、保護者の方 がお時間のない際は、ご自宅でゆっくり読んで いただきますようお願いいたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加 できる研修会や情報提供の機会等が行われてい ますか。	5	1	1	12		今後、検討していきたいと思っております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こ どもの健康や発達状況について共通理解ができて いると思いますか。	16	2	0	1	・日々の活動の様子は詳しく教えてもらって いて、とても丁寧に対応してくれていると感じ る。 ・子どもの発達のことを話すタイミングがない ため、先生方が子どものように見取り、個々 に	日々のご様子は細かくご家族様に当日にお伝 えするよう心がけておりますが、面談やご相 談が必要な際はご連絡いただきましたら対応 させていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支 援が行われていますか。	16	0	1	2		必要とされる面談は随時行っております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされている と思いますか。	18	0	0	1		ご家族様からのご要望やご相談に丁寧にお答 えしております。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催 等により、保護者同士の交流の機会が設けら れるなど、家族への支援がされているか。また、 きょうだい向けのイベントの開催等により、 きょうだい同士の交流の機会が設けられる など、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	4	13		今後、機会があれば検討していきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	2		保護者の方からお困りごとや不安なことを相談された場合は、時間を取ってお話をお聞きしております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2	0	0		情報伝達の漏れがないよう、保護者の方とメール等で連絡を取り合っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	0	3	・日々の活動の様子をHP又はLINEで知りたい。写真も月でいくつが見たい。	月に一度、活動などについてお便りを配布しており、月に3度ほどブログに掲載もさせていただいております。また、こちらの自己評価につきましてブログに掲載予定です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	2		個人情報については十分に注意して取り扱っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	1	10		職員等で話し合い、避難訓練を実施しております。実施した場合は送迎時にもきちんと保護者様にお伝えするようにしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	13		必要な物は備え、適した避難訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	4		安全には十分に配慮し、支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2	0	3		気になる部分、小さな傷や内出血等全てを保護者様にお伝えするようにしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	・いつも温かく子どもと関わって下さりありがとうございます。	お子様が安心して楽しく通所していただけるよう、その日の様子や個々の特徴に合わせて支援を行っております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	0	・先生方が温かく接してくれているので、毎回家楽しみにしている。園とは違い、少ない人数・多くの先生といった環境で、のびのびと息抜きさせてもらい、集団で頑張るパワーをもらっている。	子どもたちがその子らしく楽しく過ごせる場を今後も提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	0	0	・利用して間もないため「わからない」が多くなってしまったが、子どもは楽しんで、大きく成長したと感じる。 ・いつも本当にありがとうございます。	安心・安全に通える場を提供していきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援 はぐみ神前教室	公表日 令和7年 2月 12日
------	----------------	-----------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行っている。空気清浄機やエアコン、換気などその都度使い分けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チーム間でモニタリング会議を実施し、意見交換し、支援目標等を決めている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	支援終了後ではなく、次の日の朝の打ち合わせ時間等でその日の出勤者間で振り返り・共有等を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			保護者様や利用者様への移行支援は行っているが、園や学校などとの間での情報共有はできていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		移行先への情報共有ができていないのが現状。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○				
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				